

**2022年  
6月定例会**

# 小学校の自校調理給食をやめる！？ 宇治市の給食が大きく変えられる危機

宇治市議会6月定例会が、6月28日に全日程を終えました。

党議員団は、市長が提出した、中学校給食センターの建設のために、設計から建設まで一括で行うデザインビルド方式（以下、「DB方式」）の事業者選定の準備を、民間コンサルタント業者に委託するための2500万円債務負担行為予算を削除する修正案を提案しました。

**何でも民間  
任せでいいの!?**

## 給食センターに必要な性能・機能は 市が仕様を決め設計・実施すべき

公共施設などを建設するにあたっては、予算に合わせて市が求める水準の機能や性能を満たすために、どの業者が受注しても一定の品質を保つよう、使用する材料や機材、工法などを定める「仕様書」を作成します。この「仕様書」を基に設計、建設を行います。今回の補正予算は、「仕様書」作成の段階から民間コンサルタント業者に業務委託するためのものでした。

党議員団は、中学校給食実施にあたって、「給食センターは単に食品工場ではなく、教育の一環として安全を確保し、食育など教育効果をしっかり発揮し、子ども達の成長を支えるものでなければならない」として、市が役割を発揮し責任を果すべきであると修正案を提案しました。

修正案は、うじ未来、自民、公明、維新などの反対で否決されました。

政府の方針で、民間企業の儲け口として公共の仕事の民間開放が進み、行政が本来果たすべき役割が発揮できなくなっています。宇治市では太閤堤跡の「歴史公園」がその一つです。

## 市長が西小倉地域の小中一貫校整備をきっかけに 全小学校給食までセンターへの変更を狙う

市は、西小倉地域の3小学校と1中学校を統廃合し新たな小中一貫校を建設しようとしています。この一貫校について、当初は小学校用の給食室を計画に入れていました。しかし、市教委は一貫校の給食を小学生用も含め中学校給食センターから配送したい考えを示しました。

そのため、市教委は突如として、6月定例会の一般質問で「宇治市の全ての小学校給食のあり方を検討する」と答弁。検討委員会を設置し検討を始めました。

## 子ども達や保護者の声を聞かず 数回の会議で結論？

市の小学校給食は、市政発足以来70年以上に渡り行われ、現在は「自校調理方式」です。

市教委は、小学校給食について中学校給食センターを活用するための検討を進めています。検討委員会では子ども達や保護者という最大の関係者の声を聴く予定はなく、検討委員にも保護者は1人もいません。市教委の求める答えを導くために自ら設置したと考えざるを得ません。そもそも市教委が検討をする事になったのは、市長が市教委に「中学校給食の活用検討を指示した（市長答弁）」ことが原因だと、党議員の一般質問での追及で明らかになりました。

教育委員会は、合議制で教育についての方針決定を行う独立した機関で、市長が指示して方針を決めるべきものではありません。市長の越権行為とも言える大変危険な事態です。

そのような状況で、7月末までにわずか3、4回の会議で結論を出そうとするなどあまりに乱暴です。

**日本共産党  
宇治市議員団**

議員団だより 2022年 7月 3日号

宇治市宇治琵琶 33 宇治市役所内

TEL : 0774-22-3141 FAX : 0774-24-7884

ご意見・ご相談の  
アンケートフォーム  
はこちら →

